

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 アルメタックス株式会社

コード番号 5928 URL <http://www.almetax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 引間龍治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 生川聖一

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 06-6440-3851

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,558	△35.3	127	△58.0	175	△46.3	97	△49.8
21年3月期第2四半期	7,044	—	303	—	327	—	193	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	8.44	—
21年3月期第2四半期	16.73	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第2四半期	8,784		7,051		80.3		613.32	
21年3月期	8,973		6,947		77.4		604.27	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 7,051百万円 21年3月期 6,947百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	3.00			
22年3月期(予想)			—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△22.7	210	△8.4	230	△12.8	120	50.7	10.43

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔注〕 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	11,912,515株	21年3月期	11,912,515株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	415,859株	21年3月期	415,453株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	11,496,829株	21年3月期第2四半期	11,558,188株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等には様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)におけるわが国経済は、長引く世界的不況の影響により、企業収益、設備投資、雇用環境、個人消費等が回復基調に戻ることなく厳しい状況のままで推移し、景気の先行きも不透明な状態が続く結果となりました。

そのようななか当社の経営成績は、新設住宅着工戸数の低迷等による住宅建材受注環境の悪化及びアルミビレット鑄造事業(素材部門)の製造及び販売を平成21年6月1日より1年間を目処に一時的に休止したことなどにより、販売高の大幅な減少を余儀なくされました。

その結果、第2四半期累計期間の売上高につきましては、住宅建材部門で44億8千万円(前年同四半期累計期間55億5千9百万円、△19.4%)、素材部門で7千8百万円(前年同四半期累計期間14億8千4百万円、△94.7%)となり、合計で45億5千8百万円(前年同四半期累計期間70億4千4百万円、△35.3%)となりました。

利益面につきましては、ワークシェアリングを始めとした総コスト抑制策を実施したこと等により、期初に公表しました当第2四半期累計期間の業績予想における営業利益、経常利益、四半期純利益の各利益項目で上まわることとなりました。

その結果、営業利益は1億2千7百万円(前年同四半期累計期間3億3百万円、△58.0%)、経常利益で1億7千5百万円(前年同四半期累計期間3億2千7百万円、△46.3%)、四半期純利益は9千7百万円(前年同四半期累計期間1億9千3百万円、△49.8%)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産合計は、前事業年度末に比べて2.1%減少し、87億8千4百万円となりました。

これは、主に、現金及び預金が2億3千5百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が2億7百万円減少したこと、原材料及び貯蔵品が棚卸資産評価損の計上並びに在庫圧縮により6千9百万円減少したこと、繰延税金資産が5千3百万円減少したこと、有形固定資産における建物他各償却資産の純額が減価償却の進捗により4千7百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べて14.5%減少し、17億3千3百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金並びに設備支払手形の合計が1億1百万円減少したこと、一年以内返済予定の長期借入金が返済により7千万円減少したこと、未払消費税並びに未払法人税等が4千3百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて1.5%増加し、70億5千1百万円となりました。

これは、主に、当第2四半期累計期間純利益の計上による9千7百万円の増加及び平成21年6月25日定時株主総会決議にかかる配当金の支払いによる5千7百万円の減少により利益剰余金が差引4千万円増加したこと、当第2四半期累計期間末のその他有価証券評価差額金が6千4百万円増加したことによるものであります。

第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは3億4百万円(前年同四半期累計期間2億2百万円)、投資活動によるキャッシュ・フローは5千8百万円(前年同四半期累計期間△1億4千7百万円)、財務活動によるキャッシュ・フローは△1億2千8百万円(前年同四半期累計期間△2億3千3百万円)となり、現金及び現金同等物は、15億2千9百万円となり、前年同四半期累計期間末に比し4億4千1百万円の増加となりました。

引続き、総費用の抑制に努め収益力の強化を図る方針です。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期業績予想については、平成21年5月13日発表の平成21年3月期決算短信に記載しました平成22年の通期業績予想に記載のとおり概ね進捗しており、発表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算出方法による概算額で計上する方法によっております。

4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,529,320	1,294,248
受取手形及び売掛金	2,265,519	2,472,766
商品及び製品	250,217	227,592
仕掛品	13,077	19,136
原材料及び貯蔵品	455,194	524,239
その他	237,381	231,597
貸倒引当金	△1,997	△2,157
流動資産合計	4,748,712	4,767,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,149,250	1,168,860
土地	1,495,482	1,495,482
その他(純額)	334,211	362,538
有形固定資産合計	2,978,944	3,026,881
無形固定資産		
投資その他の資産	15,049	17,049
投資有価証券	493,831	515,828
関係会社株式	427,994	392,758
その他	132,588	266,526
貸倒引当金	△12,531	△12,538
投資その他の資産合計	1,041,882	1,162,574
固定資産合計	4,035,876	4,206,506
資産合計	8,784,589	8,973,930
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,082,391	1,180,331
1年内返済予定の長期借入金	15,000	85,000
未払法人税等	36,593	70,102
賞与引当金	131,000	145,000
その他	209,021	212,088
流動負債合計	1,474,006	1,692,522
固定負債		
退職給付引当金	99,371	79,633
その他	160,137	254,421
固定負債合計	259,509	334,054
負債合計	1,733,515	2,026,577

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160,418	2,160,418
資本剰余金	2,584,533	2,584,553
利益剰余金	2,523,849	2,484,284
自己株式	△104,710	△104,650
株主資本合計	7,164,091	7,124,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,973	△53,263
土地再評価差額金	△123,990	△123,990
評価・換算差額等合計	△113,017	△177,253
純資産合計	7,051,073	6,947,352
負債純資産合計	8,784,589	8,973,930

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,044,431	4,558,729
売上原価	5,885,578	3,673,313
売上総利益	1,158,852	885,415
販売費及び一般管理費	855,768	758,250
営業利益	303,083	127,164
営業外収益		
受取利息	1,248	301
受取配当金	22,456	16,896
仕入割引	8,267	4,229
助成金収入	—	28,759
その他	4,565	4,022
営業外収益合計	36,537	54,209
営業外費用		
支払利息	2,770	755
売上割引	4,740	3,729
支払手数料	4,345	1,217
その他	541	64
営業外費用合計	12,397	5,767
経常利益	327,224	175,607
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,200	166
投資有価証券売却益	7,670	472
投資事業組合運用益	—	1,893
特別利益合計	13,870	2,532
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,865
固定資産除却損	3,728	1,183
その他	176	—
特別損失合計	3,905	4,048
税引前四半期純利益	337,189	174,091
法人税、住民税及び事業税	135,000	27,300
法人税等調整額	8,737	49,740
法人税等合計	143,737	77,040
四半期純利益	193,452	97,050

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	337,189	174,091
減価償却費	112,068	100,386
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,990	△166
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,000	△14,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,874	19,738
受取利息及び受取配当金	△23,704	△17,198
支払利息	2,770	755
有形固定資産除却損	1,649	1,183
無形固定資産除却損	2,078	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,670	△472
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,865
売上債権の増減額(△は増加)	△247,918	210,776
たな卸資産の増減額(△は増加)	48,215	47,970
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△37,773	△43,178
仕入債務の増減額(△は減少)	45,874	△117,094
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,439	△9,763
その他の流動負債の増減額(△は減少)	6,171	△662
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,300	△4,250
その他	648	△2,417
小計	279,623	348,565
利息及び配当金の受取額	23,704	17,198
利息の支払額	△2,885	△869
法人税等の支払額	△97,468	△60,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,974	304,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△162,428	△40,046
無形固定資産の取得による支出	△1,899	—
固定資産の除却による支出	△1,216	—
投資有価証券の売却による収入	9,725	93,253
関係会社株式の取得による支出	△1,883	△419
長期貸付金の回収による収入	1,150	515
その他の収入	8,606	5,270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147,945	58,572

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△70,000	△70,000
配当金の支払額	△71,201	△57,379
自己株式の処分による収入	—	63
自己株式の取得による支出	△92,552	△143
その他の支出	△108	△649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,862	△128,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△178,833	235,071
現金及び現金同等物の期首残高	1,266,250	1,294,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,087,417	1,529,320

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。